

# HEMSコントローラ 取扱説明書



対象製品  
HEMSコントローラ PJ1H-C2

## 準備

- 1 製品を安全にご使用いただくために
- 2 ボタンの使いかた
- 3 ホーム画面について

## 表示の見方

- 4 データ
- 5 モニタ
- 6 設定

## 付録

- 7 トラブルシューティング
  - 8 日常のお手入れ
- アフターサービス内容  
保証書

## はじめに

このたびは、IDEC株式会社製HEMSコントローラをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、パワーコンディショナの発電電力やご家庭の消費電力などを計測し、モニターしたり、さまざまな設定ができる装置です。ご使用前に本書をよくお読みいただき、本製品の機能と性能を十分にご理解した上で正しくご使用いただきますようお願いいたします。

また本書はいつでもご利用いただけますように、大切に保管してください。

### お断り

1. 本書の一部あるいは全部を無断で複写、転載、販売、譲渡、賃貸することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来お断りなしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤りや記載もれなどがありましたら、お買い求めの販売店またはIDEC株式会社までご連絡ください。

### ⚠️ご注意

本製品は電気工事士の資格がないと取り扱えません。お客様による据付や修理は大変危険ですので、絶対に行わないでください。詳しくは販売店にお問い合わせください。

## ご使用に際して

- (1) 本製品の保証に関しましては、取扱説明書巻末の保証書をご参照ください。
- (2) 本製品に起因して生じた特別損害、間接損害、消極損害、その他本製品の故障により誘発される損害に関しましては、当社はいかなる場合も責任を負いません。
- (3) 当社以外の者が行った設定やプログラム、またはそれにより生じた結果につきましては、当社は責任を負いません。
- (4) 本製品を他の製品と組み合わせて使用される場合、お客様ご自身で適合規格、法規、規制をご確認ください。また、お客様が使用されるシステム、装置への本製品の適合性は、お客様自身でご確認ください。
- (5) 本製品は医療機器、原子力、鉄道、航空、乗用機器などの高度な信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。上記以外でも、機能・精度において高い信頼性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般としてフェールセーフ設計や冗長設計等の処置を講じたうえで使用してください。
- (6) 本書に掲載の製品仕様、機能等についてはお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

# 目次

## 準備

1	製品を安全にご使用いただくために	4
1.1	表示の説明	4
1.2	据付、配線について	5
2	ボタンの使いかた	7
3	ホーム画面について	8
3.1	画面の表示	8
3.2	ボタンの機能	10

## 表示の見方

4	データ	11
5	モニタ	16
6	設定	19
6.1	電力グラフのスケールを設定する[グラフスケール]	21
6.2	LAN通信設定の確認/無線LANルータへの接続[通信設定]	21
6.3	売電単価を設定する[料金設定]	24
6.4	クラウドサービスの使用を設定する[クラウド設定]	24
6.5	パワーコンディショナの情報を表示する[システム情報]	25
6.6	サーバに接続する[サーバ確認]	25
6.7	HEMSコントローラに端末を登録する[端末登録]	26

## 付録

7	トラブルシューティング	27
7.1	故障かなと思ったら	27
7.2	エラーコード一覧	27
8	日常のお手入れ	31
	アフターサービス内容	32
	保証書	33



# 1

## 製品を安全にご使用いただくために

### 1.1 表示の説明

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、人が重傷を負うか物的損害が発生する可能性があります。

	“感電”の恐れがあることを示します。
	“やけど”の恐れがあることを示します。
	“禁止”であることを示します。
	“指示”であること（必ず行うこと）を示します。
	アース線をつなぐことを意味しています。

## 1.2 据付、配線について



# 警告

屋内に設置する



火災・感電、漏電、故障の恐れがあります。

高温、多湿、ホコリの多い場所を避ける



火災・感電、漏電、故障の恐れがあります。

濡れた手で触らない



感電の恐れがあります。

引火物の近くに置かない



火災・故障の恐れがあります。

異臭、異音などがした場合は太陽光発電用ブレーカを OFF する



販売店に連絡してください。

スプレー等を吹き付けない



火災・故障の恐れがあります。

水や液体をこぼさない



火災・感電、漏電、故障の恐れがあります。

# 注意



次のような場所には取り付けないでください。

- 屋外や軒下等の雨があたるところ
- 温度変化が激しいところ
- 潮風にさらされるところ
- 直射日光が当たるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 浴室、脱衣所、調理場等の水蒸気、油蒸気、結露が直接あたるところ、および発生するところ
- 塵埃（オガ屑、粉塵、砂塵、金属粉等）が一般家庭屋内と比較して多いところ
- 標高 2000m 以上の場所



本製品は無線を使用しているため、強い電波を出す以下のような装置や大きな金属製品の近くには、設置しないでください。  
パソコン、パソコン周辺機器、電子レンジ、IH機器、電話機、ファックス、アマチュア無線機など



本製品は計量法で定める特定計量器ではありませんので、表示した電力量の値を取引または証明に使用しないでください。あくまで目安としてご使用ください。



日付時刻設定で日時を設定する場合、正確な日時を設定してください。間違った日時を設定するとその日時のデータが上書きされます。



静電気にご注意ください。本製品は静電気によって故障する場合があります。



掃除は乾燥したやわらかい布を使用してください。シンナー等の有機溶剤、強アルカリ、強酸性洗剤等は使用しないでください。ケースが劣化、変色する恐れがあります。



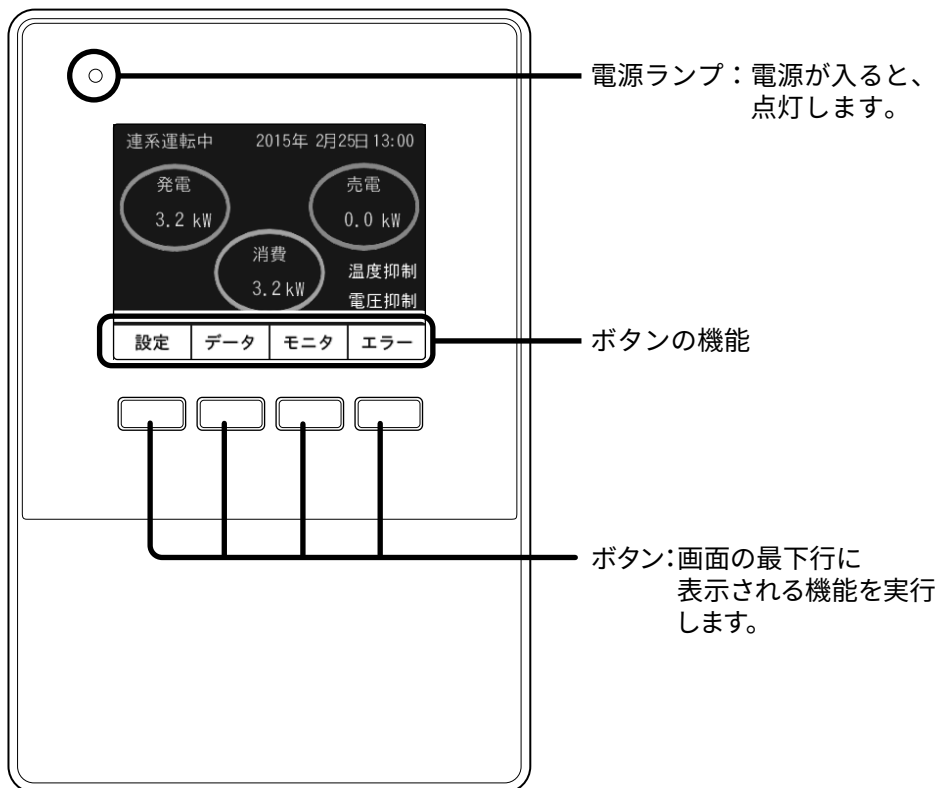
本製品の移動、再設置などを行う場合には販売店にご相談ください。



本製品を破棄する場合には、地方自治体の条例にしたがってください。

## 2 ボタンの使いかた

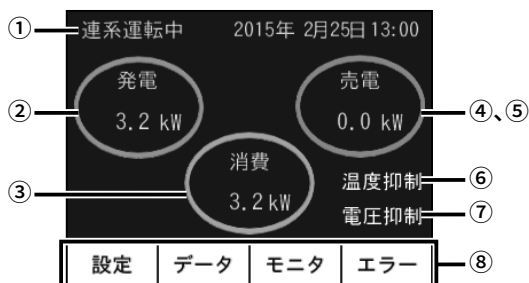
本製品は、太陽光パネルの発電情報や売電 / 買電情報などを表示するためのユニットです。操作は4つのボタンで行い、各ボタンの機能は表示される画面によって異なり、モニターの最下行にはボタンの機能を表示します。



# 3 ホーム画面について

HEMSコントローラのモニタに表示されるメニューの構成、および各画面の表示内容／機能について説明します。

## 3.1 画面の表示



① 運転状態	連系運転中	通常運転状態です。パワーコンディショナを連系運転に切り換えたときに、この表示になります。
	自立運転中	パワーコンディショナを自立運転に切り換えたときに、この表示になります。
	運転 SW オフ	パワーコンディショナの運転スイッチを停止にしたときに、この表示になります。
	運転準備中	パワーコンディショナが運転準備中（カウントダウン表示中）に、この表示になります。
	停止中	夜間など、パワーコンディショナの運転が停止している場合に、この表示になります。
	エラー発生中	電力会社からの送電の異常をパワーコンディショナが検出した場合、またはパワーコンディショナが故障の場合に、この表示になります。
	表示なし	初期設定で、パワーコンディショナを1台も登録していない場合に、この表示になります。 HEMS コントローラの電源投入時にパワーコンディショナと通信できない場合も、この表示になります。
② 発電	太陽光発電システムで発電している電力です。	
③ 消費	ご家庭の電気製品で消費している電力です。 消費＝発電－売電または、 消費＝発電＋買電	



④ 売電	電力会社へ売っている電力です。「④売電」／「⑤買電」は、切り換え表示されます。
⑤ 買電	電力会社から買っている電力です。
⑥ 温度抑制	温度抑制の文字が表示された場合、パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、温度抑制値に達したため、温度上昇抑制機能が動作しています。
⑦ 電圧抑制	電圧抑制の文字が表示された場合、系統電圧が上昇し、出力電圧抑制の設定値に達したため、電圧上昇抑制機能が動作しています。
⑧ ボタン機能表示	4つのボタンの機能を表示します。



### 連系運転／自立運転とは

この装置には、「連系運転モード」と「自立運転モード」があります。

「連系運転モード」では、電力会社からの電力を使いながら、太陽光発電で電力が余った場合は余った電力を電力会社に売ることができます。通常は、このモードで使用します。

「自立運転モード」では、太陽電池で発電した電力のみを使用します。停電などで電力会社からの電力供給が止まったときに使用するモードで、電力を電力会社に売ることができません。



### 温度抑制とは

温度上昇抑制機能のことで、パワーコンディショナ内部の温度が高くなった場合に、パワーコンディショナの性能を維持する目的で温度上昇を抑える保護機能です。温度上昇抑制機能が働いたときにデータを記録しますが、製品の異常ではありません。



### 電圧抑制とは

電圧上昇抑制機能のことで、系統配電線のインピーダンスが高い場合、パワーコンディショナの発電状態によっては系統電圧が上昇する場合があります。電圧上昇抑制機能は、この状態を回避するため発電量を低減し電圧を適正値に維持する機能です。

電圧上昇抑制機能が働いたときにデータを記録しますが、製品の異常ではありません。

## 3.2 ボタンの機能

ホーム画面の最下行に表示されるボタンの機能は、以下の通りです。

設定	データ	モニタ	エラー
----	-----	-----	-----

メニュー (ボタン)	サブメニュー	表示内容 / 機能	参照ページ
設定	グラフスケール	電力グラフのスケールを自動設定、または手動設定します。	P.21
	通信設定	無線 LAN/ 有線 LAN の設定を行います。	P.21
	料金設定	電気料金を設定します。	P.24
	クラウド設定	クラウドサービスの使用を設定します。	P.24
	システム情報	パワーコンディショナの登録情報や HEMS コントローラ本体のソフトウェアのバージョンを表示します。	P.25
	サーバ確認	サーバへの接続を確認します。	P.25
	端末登録	タブレットやスマートフォンなどの端末を HEMS コントローラに登録します。	P.26
データ	電気	発電量などのデータを表示します。日間・月間・年間・料金換算をグラフ形式、リスト形式で表示します。	P.12
	太陽光発電	太陽光発電の電圧上昇抑制機能または温度上昇抑制機能が作動した時間や、異常履歴を表示します。	P.13
	水道	当日の水道消費量を表示します。	P.11
	ガス	当日のガス消費量を表示します。	P.11
モニタ	個別発電データ	パワーコンディショナの発電または電力会社からの電力の状況を表示します。	P.17
	計測データ	パワーコンディショナまたは電力会社からの電力の計測データを表示します。	P.18
エラー		エラーを表示します。エラー発生時は、自動的にエラーを通知する画面に切り換わります。	P.27

## 4 データ

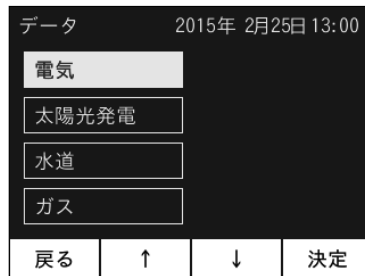
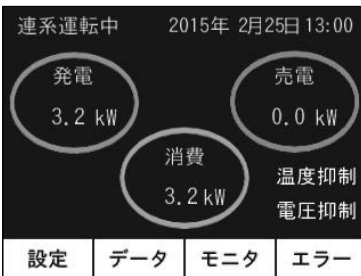
- 1 ホーム画面で[データ]ボタンを押す  
データ画面を表示します。

[電気]：発電量などのデータを表示します。日間・月間・年間・料金換算をグラフ形式、リスト形式で表示します。

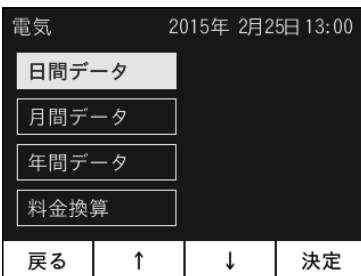
[太陽光発電]：パワーコンディショナの電圧上昇抑制履歴・温度上昇抑制履歴・異常履歴を表示します。

[水道]：当日の水道消費量を表示します。

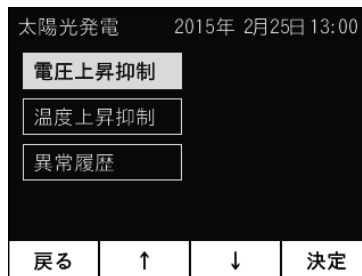
[ガス]：当日のガス消費量を表示します。



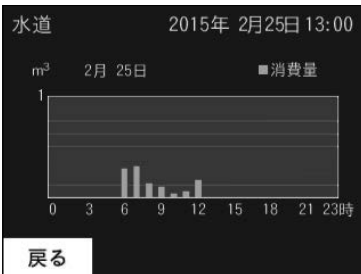
- 2 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す



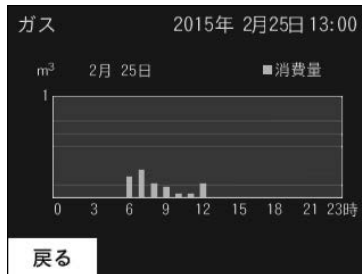
[電気]の場合



[太陽光発電]の場合



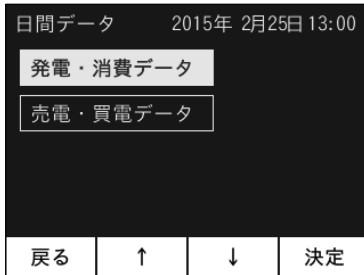
[水道]の場合



[ガス]の場合

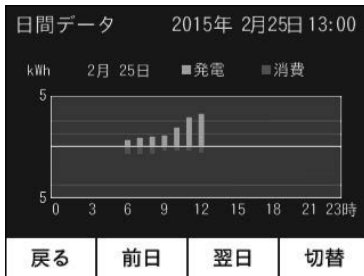
## ■ [電気] の表示

- 1 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す  
[発電・消費データ]：太陽光発電で発電した電力のデータと消費した電力のデータを表示します。  
[売電・買電データ]：電力の売り買いに関するデータを表示します。



例：[日間データ]

- 2 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す  
選択した項目のデータを表示します。  
[前日]：前日のデータを表示します。  
[翌日]：翌日のデータを表示します。  
[切替]：グラフ表示とリスト表示を切り替えます。



例：[発電・消費データ]



データは以下の期間保存して表示することができます。

日間データ：24時間×32日分

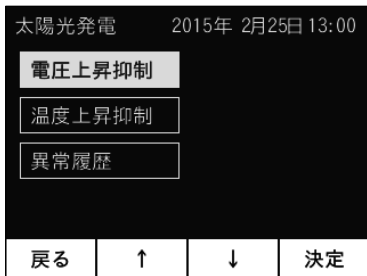
月間データ：31日×13ヶ月分

年間データ：12ヶ月×10年分

\*上記期間を超えた場合、古いものから順番にデータが消去されます。

## ■ [太陽光発電] の表示

- 1 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す
- [電圧上昇抑制]：太陽光発電の電圧上昇抑制機能が働いた時間を表示します。
  - [温度上昇抑制]：太陽光発電の温度上昇抑制機能が働いた時間を表示します。
  - [異常履歴]：異常の履歴を表示します。異常履歴は最大60件です。古いものから順に消えていきます。エラーNo.の詳細は「7.2 エラーコード一覧」をご覧ください。



- 2 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す
- 選択した項目のデータを表示します。
- [↑]または[↓]ボタンを押すと、画面がスクロールします。

<[電圧上昇抑制]を選んだ場合>

- [PCS]：パワーコンディショナのアドレスを表示します。
- [発生日]：電圧上昇抑制機能が働いた、過去32日分のデータを表示します。
- [運転時間]：1日にパワーコンディショナが発電した時間を表示します。
- [抑制時間]：1日に電圧上昇抑制機能が働いた時間を表示します。

電圧上昇抑制 2015年 2月25日 13:00

PCS	発生日	運転時間	抑制時間
1	2015/ 2/25	6時間05分	0時間03分
-	--	--	--
-	--	--	--

戻る ↑ ↓



### 電圧上昇抑制機能について

系統配電線のインピーダンスが高い場合、パワーコンディショナの発電状態によっては系統電圧が上昇する場合があります。電圧上昇抑制機能は、この状態を回避するため発電量を低減し電圧を適正值に維持する機能です。

電圧上昇抑制機能が働いたときにデータを記録しますが、製品の異常ではありません。

<[温度上昇抑制]を選んだ場合>

[PCS]：パワーコンディショナのアドレスを表示します。

[発生日]：温度上昇抑制機能が働いた、過去32日分のデータを表示します。

[運転時間]：1日にパワーコンディショナが発電した時間を表示します。

[抑制時間]：1日に温度上昇抑制機能が働いた時間を表示します。

温度上昇抑制		2015年 2月25日 13:00	
PCS	発生日	運転時間	抑制時間
1	2015/ 2/25	6時間05分	0時間03分
-	--	--	--
-	--	--	--
戻る	↑	↓	



### 温度上昇抑制機能について

パワーコンディショナ内部の温度が高くなった場合に、パワーコンディショナの性能を維持する目的で温度上昇を抑える保護機能です。温度上昇抑制機能が働いたときにデータを記録しますが、製品の異常ではありません。

<[異常履歴]を選んだ場合>

[PCS]：パワーコンディショナのアドレスを表示します。

[時刻]：異常が発生した時刻を表示します。

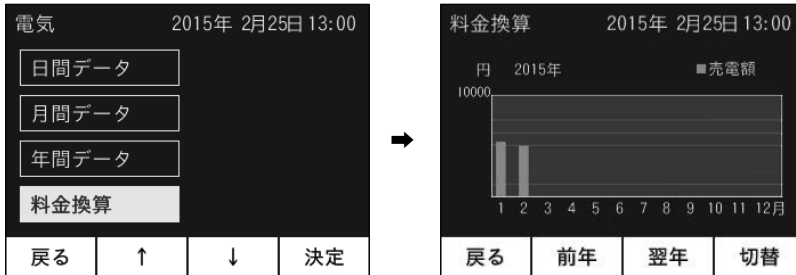
[発生日]：異常が発生した、過去60件分のデータを表示します。

[コード]：エラーコードを表示します。

異常履歴		2015年 2月25日 13:00	
PCS	発生日	時刻	コード
1	2015/ 2/25	13:00	E11
-	--	--	--
-	--	--	--
戻る	↑	↓	

## ■ 電気料金換算

- 1 電気のホーム画面で[↑]または[↓]ボタンを押して[料金換算]を選択したあと、[決定]を押す  
年間の売電料金換算値をグラフ形式で表示します。  
[前年]ボタン：前年の料金換算を表示します。  
[翌年]ボタン：翌年の料金換算を表示します。  
[切替]ボタン：表形式で料金換算を表示します。



- 2 [切替]ボタンを押す  
表形式で料金換算を表示します。  
[↑]/[↓]ボタン：画面を上下にスクロールします。

The screenshot shows the '料金換算' (Bill Conversion) screen in table format, dated '2015年 2月25日 13:00'. The title is '月 売電額 円'. The table contains the following data:

月	売電額 円
1	5760
2	4800
3	--

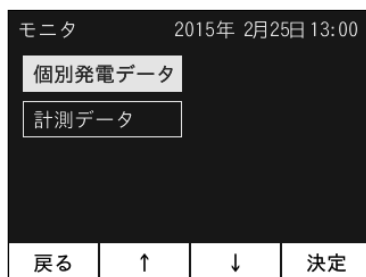
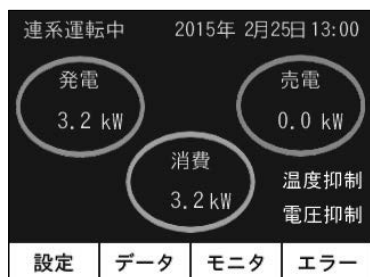
Below the table are navigation buttons: '戻る', '↑', '↓', and '切替'.

# 5 モニタ

- 1 ホーム画面で[モニタ]ボタンを押す  
モニタ画面を表示します。

[個別発電データ]：パワーコンディショナごとの発電電力、総積算発電量を表示します。

[計測データ]：電力会社からの電力やパワーコンディショナの発電状況を表示します。



- 2 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す  
パワーコンディショナの発電の状況、HEMSコントローラの計測データを表示します。



[個別発電データ]の場合



[計測データ]の場合



## ■ [個別発電データ] の表示

個別発電データ画面では、[全体]ボタンを押すと、すべてのパワーコンディショナの情報を表示することができます。全体の情報を表示する画面で[個別]ボタンを押すと、各パワーコンディショナの情報を表示することができ、[↑]または[↓]ボタンを押すと情報を表示するパワーコンディショナを切り換えることができます。

個別発電データ 2015年 2月25日 13:00

PCS1

連系運転中

現在の発電 1.5 kW

総積算発電量 3.0 kWh

戻る ↑ ↓ 全体

パワーコンディショナのアドレス

パワーコンディショナの運転状態

↓ [全体]ボタンを押す

個別発電データ 2015年 2月25日 13:00

全体

現在の発電 1.5 kW

総積算発電量 3.0 kWh

戻る 個別

↓ [個別]ボタンを押す

個別発電データ 2015年 2月25日 13:00

PCS1

連系運転中

現在の発電 1.5 kW

総積算発電量 3.0 kWh

戻る ↑ ↓ 全体

## ■ [計測データ] の表示

計測データ画面では、[PCS]ボタンを押すと、各パワーコンディショナの計測データを表示することができます。各パワーコンディショナの計測データを表示する画面で[↑]または[↓]ボタンを押すと、他のパワーコンディショナの計測データを表示することができます。[系統]ボタンを押すと、系統の情報を表示することができます。

計測データ	2015年 2月25日 13:00	
系統計測値		
系統電力	+2.0	kW
系統電圧(U相/W相)	100.5	100.5 V
系統電流(U相/W相)	10.1	10.0 A
戻る	PCS	

↓ [PCS]ボタンを押す

計測データ	2015年 2月25日 13:00		
PCSアドレス	01		
直流電圧	293.7	V	
直流電流	14.2	A	
交流電圧	200.5	V	
戻る	↑	↓	系統

↓ [↑]または[↓]ボタンを押す

計測データ	2015年 2月25日 13:00		
PCSアドレス	13		
直流電圧	293.7	V	
直流電流	14.2	A	
交流電圧	200.5	V	
戻る	↑	↓	系統



系統とは

電力会社からくる送電、配電線のことです。

# 6 設定

## 1 ホーム画面で[設定]ボタンを押す

設定画面を表示します。

[グラフスケール]：電力グラフのスケールを自動設定、または手動設定します。

[通信設定]：無線LAN/有線LANの設定を行います。

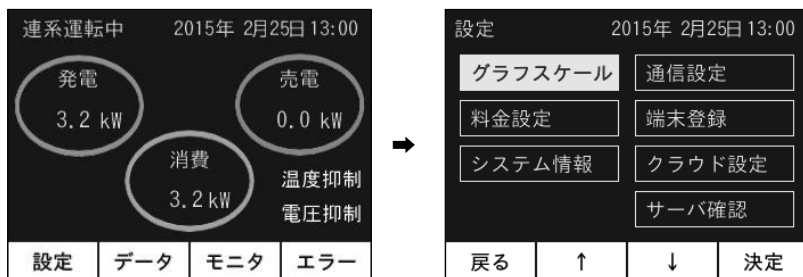
[料金設定]：電気料金を設定します。

[クラウド設定]：クラウドサービスの使用を設定します。

[システム情報]：パワーコンディショナの登録情報やHEMSコントローラ本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

[サーバ確認]：クラウドサーバへの接続を確認します。

[端末登録]：タブレットやスマートフォンなどの端末をHEMSコントローラに登録します。



## 2 [↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押す 選択した項目の画面が表示されます。



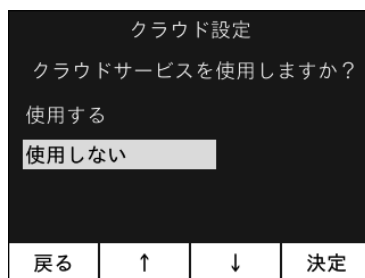
[グラフスケール]の場合



[通信設定]の場合



[料金設定]の場合



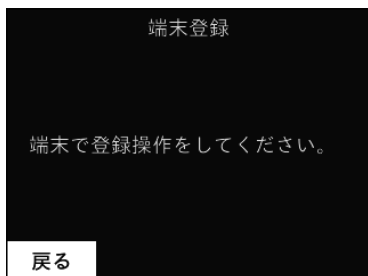
[クラウド設定]の場合



[システム情報]の場合



[サーバ確認]の場合



[端末登録]の場合

## 6.1 電力グラフのスケールを設定する[グラフスケール]

グラフスケール画面では、[↑]または[↓]ボタンを押して[自動]または[手動]を選択し、[決定]ボタンを押すことで、電力グラフのスケールを設定することができます。

[自動]：表示する値の最大値がフルスケールになるように、スケールが自動設定されます。

[手動]：任意のスケールを設定できます。

グラフスケール			
<input checked="" type="radio"/> 自動	日間データ <input type="text" value="1"/> kWh		
<input type="radio"/> 手動	月間データ <input type="text" value="10"/> kWh		
	年間データ <input type="text" value="200"/> kWh		
戻る	↑	↓	決定

## 6.2 LAN通信設定の確認/無線LANルータへの接続[通信設定]

通信設定画面では、無線/有線LANの通信設定の確認、無線LANルータへの接続ができます。

[↑]または[↓]ボタンを押して[有線LAN]または[無線LAN]を選択し、[決定]ボタンを押すと接続を設定できます。



### ルータについて

本書では、特に明記しない限り、ブロードバンドルータやWiFiルータを「無線LANルータ」と表記します。

通信設定			
<input checked="" type="radio"/> 有線LAN			
<input type="radio"/> 無線LAN			
有線LAN MAC	<input type="text" value="00:00:00:00:00:00"/>		
無線LAN MAC	<input type="text" value="00:00:00:00:00:00"/>		
戻る	↑	↓	決定

例：[有線 LAN]

有線LAN	
IPアドレス	192.168.11.4
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.11.1
DNS	192.168.11.1
<input type="button" value="戻る"/>	

\* DHCPサーバよりIPアドレスが取得できない場合は、IPアドレス・ネットマスク・ゲートウェイ・DNSに「---」が表示されます。

例：[無線LAN]

無線LAN	
IPアドレス	192.168.11.2
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.11.1
DNS	192.168.11.1
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="次へ"/>

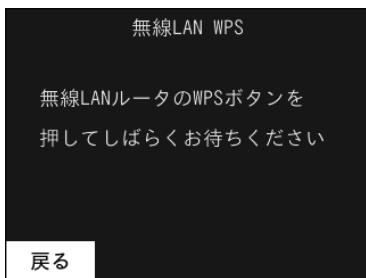
↓ [次へ]ボタンを押す

無線LAN	
SSID	ABCDEFGHIJKLM
暗号化	WPA2-AES
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="設定"/>

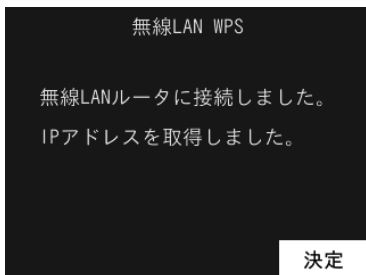
↓ [設定]ボタンを押す

無線LAN			
WPS			
WPS PIN			
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="↑"/>	<input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="決定"/>

↓ [WPS]を選択し[決定]ボタンを押す



この画面が表示されたら、無線LANルータのWPSボタンを押します。



IPアドレスの取得を確認後、[戻る]ボタンを押して設定画面に戻ってください。

→  
[決定]ボタン  
を押す



無線LANで接続で「接続できませんでした」というメッセージが出た場合

① [決定]ボタンを押してください。



② [WPS] または [WPS PIN] を選択する画面で [WPS PIN] を選択し、[決定] ボタンを押してください。



③ 画面に表示される8桁のPINコードをルータ側に設定してください。

### 6.3 売電単価を設定する[料金設定]

料金設定画面では、売電単価を設定することができます。[変更]ボタンを押すと料金を変更する画面を表示します。

[値変更]ボタンと[桁変更]ボタンで価格を変更し、[決定]ボタンを押してください。



料金設定

売電単価 37.00 円

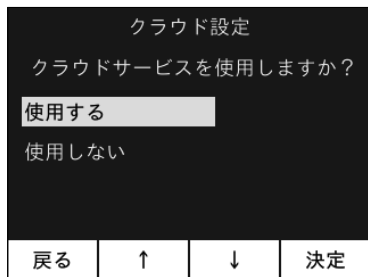
戻る 変更

### 6.4 クラウドサービスの使用を設定する[クラウド設定]

クラウド設定画面では、[↑]または[↓]ボタンを押して項目を選択し、[決定]ボタンを押すことで、クラウドサービスの使用設定することができます。

[使用する]：クラウドサービスを使用します。

[使用しない]：クラウドサービスを使用しません。



クラウド設定

クラウドサービスを使用しますか？

使用する

使用しない

戻る ↑ ↓ 決定



## 6.5 パワーコンディショナの情報を表示する[システム情報]

システム情報画面ではパワーコンディショナの登録状況とHEMSコントローラの情報を表示します。[切替]ボタンを押すとパワーコンディショナの情報を表示します。情報表示画面では、[↑]または[↓]ボタンを押すと、他のパワーコンディショナの情報を表示します。

システム情報	
PCS登録	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
本体ブート	Ver. 1.0000
本体カーネル	Ver. 1.0000
本体アプリ	Ver. 1.0000
戻る	切替

登録されているパワーコンディショナをオレンジ色で表示します。

パワーコンディショナの登録情報やHEMSコントローラ本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

↓ [切替]ボタンを押す

システム情報	
PCS1	
型番	PJ1A-A421
ファームウェア	P00E0220800
製品ID	ABCDEFGHIJKL
戻る	↑ ↓

情報表示画面

## 6.6 サーバに接続する[サーバ確認]

サーバに接続します。接続に成功すると、以下の画面を表示します。

サーバ確認結果	
接続に成功しました	
4桁パスワード: 7572	
決定	

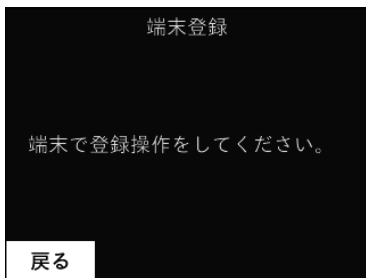
\*「接続に失敗しました」と表示される場合、ケーブルが正しく接続されているか再度配線をご確認の上、サーバ確認を行ってください。

## 6.7 HEMSコントローラに端末を登録する[端末登録]

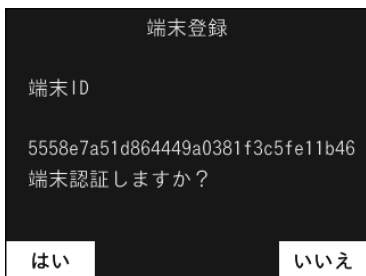
タブレットやスマートフォンなどの端末をHEMSコントローラに登録します。

[はい]：端末をHEMSコントローラへに登録します。

[いいえ]：端末をHEMSコントローラへに登録しません。



↓ 端末で登録操作を行う



↓ [はい]ボタンを押す

HEMSコントローラ端末IDを登録し、設定画面に戻ります。

\*端末登録の詳細はアプリの取扱説明書をご参照ください。

アプリの取扱説明書は下記のQRコードまたはURLにアクセスしてダウンロードすることができます。



ダウンロードURL： <http://jp.idec.com/download/HEMS>

## 7

## トラブルシューティング

## 7.1 故障かなと思ったら

症状	対処方法
「ファームウェア アップデート中」が表示され数値がカウントアップしている	ファームウェア更新中です。更新終了後に元の表示に戻ります。
1ヶ月の消費電力量が電力会社からの請求内容と異なる	本製品は特定計量器ではありませんので、本製品が表示する値は目安としてお使いください。

## 7.2 エラーコード一覧

## ■ パワーコンディショナ

エラーコード	エラー情報/原因	対策
E11	系統過電圧 系統電圧が整定値より上昇したため停止しています。	しばらくお待ちください。 系統電圧が正常に戻りしだい投入遅延時間後、自動的に運転を再開します。
E12	系統不足電圧 系統電圧が整定値より低下したため停止しています。	
E13	系統周波数上昇 系統周波数が整定値より上昇したため停止しています。	しばらくお待ちください。 系統周波数が正常に戻りしだい投入遅延時間後、自動的に運転を再開します。
E14	系統周波数低下 系統周波数が整定値より低下したため停止しています。	
E15	単独運転検出（受動） 系統の位相が整定値よりオーバーしたため停止しています。	しばらくお待ちください。 系統が正常に戻りしだい投入遅延時間後、自動的に運転を再開します。
E16	単独運転検出（能動） 系統が停電したため停止しています。	
E17	系統瞬時過電圧 系統電圧が 123 V 以上になったため停止しています。	

エラーコード	エラー情報／原因	対策
E18	系統瞬時不足電圧 系統電圧が 74 V 以下になったため停止しています。	しばらくお待ちください。 系統が正常に戻りしだい自動的に運転を再開します。
E19	外部系統異常検出 外部信号入出力端子の外部系統異常信号が入力されたため、停止しています。	しばらくお待ちください。 系統が正常に戻りしだい自動的に運転を再開します。
E21	直流過電圧検出 太陽電池からの出力電圧が 425V 以上になったため停止しています。	しばらくお待ちください。 太陽電池からの出力電圧が適正值に戻ると運転を再開します。
E22	直流地絡検出 太陽電池が地絡したため停止しています。	PV 分岐ブレーカと接続箱の開閉器をオフにして、販売店にご相談ください。  [販売店様へ] 地絡箇所を正常に戻し、停止操作の後、運転操作を行うことで運転を再開します。
E23	中間過電圧 パワーコンディショナの内部過電圧が発生したため停止しています。	停止操作の後、運転操作を行うことで運転を再開します。
E24	直流過電流検出 太陽電池の出力電流の過電流が発生したため停止しています。	
E32	交流過電流検出 パワーコンディショナ出力の過電流が発生したため停止しています。	
E34	直流分流出検出 交流電流に直流電流分が発生したため停止しています。	しばらくお待ちください。 内部自動補正を行い投入遅延時間後、自動的に運転を再開します。
E35	IPM 温度異常検出 パワーコンディショナの内部温度が異常上昇したため停止しています。	パワーコンディショナの上下部に遮蔽物があれば取り除いてください。温度が正常に戻りしだい、投入遅延時間後、自動的に運転を再開します。
E36	IPM 異常 パワーコンディショナ内部に異常が発生したため停止しています。	修理が必要です。販売店にご連絡ください。

エラーコード	エラー情報／原因	対策
E37	端子温度異常検出 入出力端子台の温度が異常上昇したため停止しています。	販売店にご相談ください。  [販売店様へ] 入出力端子の締め付けを確認してください。停止操作の後、運転操作を行うことで運転を再開します。
E44	連系 MC 溶着検出 パワーコンディショナ内部部品の連系 MC が溶着したため停止しています。	修理が必要です。販売店にご連絡ください。

## ■ HEMS コントローラ

エラーコード	エラー情報／原因	対策
E72	履歴データエラー 履歴データが異常です。	HEMS コントローラの電源を再投入してください。頻繁に発生する場合には販売店にご相談ください。
E73	時計バックアップ切れ HEMS コントローラの時計部品の電源バックアップが切れました。	初期設定で、時計設定を行ってください。
E74	時計エラー HEMS コントローラの時計部品の設定または読み出しができません。	HEMS コントローラの電源を再投入してください。頻繁に発生する場合には販売店にご相談ください。
E75	電力計測エラー 電力計測中にエラーが発生しました。	
E76	無線モジュールエラー HEMS コントローラの無線通信部品に異常が発生しました。	
E77	PCS 通信エラー HEMS コントローラとパワーコンディショナとの通信ができません。	一時的な通信エラーが発生しても自動復旧します。頻繁に発生する場合には販売店にご相談ください。
E85	ROM 書込みエラー	HEMS コントローラの電源を再投入してください。頻繁に発生する場合には販売店にご相談ください。
E86	ROM チェックサムエラー HEMS コントローラファームウェアのチェックサムもしくは内部データのチェックサムが一致しません。	

エラーコード	エラー情報／原因	対策
E91	インターネット通信エラー インターネット通信時にエラーが発生しました。	HEMS コントローラと無線 LAN ルータの接続を確認してください。
E92	ファームウェアアップデートエラー パワーコンディショナのファームウェアのアップデート中にエラーが発生しました。	HEMS コントローラとパワーコンディショナの通信ケーブル（パウコン-HEMS コントローラ間専用通信ケーブル）を確認してください。頻繁に発生する場合には販売店にご相談ください。

## 8 日常のお手入れ

- 感電の恐れがありますので、ぬれた手で触らないでください。
- シンナーなどの有機溶剤、強アルカリ性物質および強酸性物質を使用しないでください。ケースの変色や劣化、機器の故障の恐れがあります。汚れは清潔な乾いた布で拭き取ってください。
- 表示部の清掃は、乾いたやわらかい布で、から拭きしてください。から拭きする際は、無理な力で汚れを落とさないでください。表示部の傷、破損の原因となります。

# アフターサービス内容

## ●保証書

- (1) 保証書は記入欄が全て記入されていることをご確認の上、お買い上げの販売店からお受取ください。記入されていない場合には、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- (2) 保証書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。
- (3) 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- (4) 保証期間が過ぎてからの修理に関しましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

## ●修理依頼

修理のご依頼は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

修理のご連絡をいただくときには下記の項目についてお知らせください。

①形番、②製造番号、③お買い上げ日、④ご住所、お名前、電話番号、⑤故障内容(できるだけ詳しく)

## ●転居される場合

撤去、再設置工事は必ずお買い上げ販売店もしくは専門業者に依頼してください。

## ●製品に関するお問い合わせ先

IDEC株式会社 太陽光発電関連機器ご相談窓口

TEL：03-5719-5108 受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日は除く)



# 保証書

HEMS コントローラ	形番：PJ1H-C2	製造番号：
保証期間	お買い上げから1年間	
お買い上げ日	年 月 日	

お客様	お名前 様
	ご住所 電話番号 (       )       -

販売店	店名
	住所 電話番号 (       )       -

## ●販売店の方へお願い

本保証書の全ての記載欄に必ず必要事項をご記入の上、本取扱説明書をお客様へお渡しください。

## ●お客様へお願い

1. この保証書をお受取になるときに全ての記載欄が記入済みであることをご確認ください。
2. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

## ●保証内容

1. 取扱説明書、施工マニュアル、本体貼付けラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証期間に限り無償修理いたします。
2. 保証の範囲は、当社製品が故障したことによる当該製品が使用されている太陽光発電システムの失われた発電機能の回復を目的とした当該製品の修理といたします。修理が困難と当社が判断した場合は、同一製品または基本機能上同等の製品への置き換えにより対応を行うこととし、置き換える基本機能上同等の製品は故障した当該製品と完全同一のものを保証するものではありません。
3. 次のような場合は保証期間中であっても有償修理となります。
  - (1) 本保証書のご提示が無い場合。
  - (2) 保証書に正しい情報が記載されていない、または字句が書き替えられた場合。
  - (3) 取扱説明書、施工マニュアル、本体貼付けラベルなどの注意書きにしたがわない方法による施工、設計または取付け工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
  - (4) 出張修理の場合。(出張経費、及び技術料が必要です)
  - (5) 本製品の販売店が弊社保証規定と一致しない内容の保証規定をお客様に適用した場合。
  - (6) 太陽光発電システムの構造、性能および品質に影響を及ぼす、当社または当社指定の工事店が関与しない設置・増設・変更および補修に起因するもの。

- (7) 当社の定める消耗品の交換である場合。
  - (8) 本製品の機能及び使用の際に影響の無い故障(外観、モニターの画面やけやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
  - (9) 本製品の通常使用に支障の無い部分での経年劣化の範囲に該当するもの。
  - (10) 引渡し後の据付場所の移動によって生じた、本製品の故障または損傷。
  - (11) 車両や船舶などの振動、衝撃、急激な温度、湿度変化などが想定される場所での使用によって生じた故障、傷、錆、カビ、腐食等。
  - (12) 直接的、間接的に関わらず、次に掲げる事由によって生じた本製品の故障または損傷。
    - ① 不適切な使用(落下、衝撃、水濡れ、不当な修理、改造行為等、取扱説明書記載以外の使用)、または維持・管理の不備によって生じた本製品の故障、傷、錆、カビ、腐食等。
    - ② 当社が事前に承諾していない材料・部品・機器・設置工事方法等に起因するもの。
    - ③ 火災・落雷・爆発または外部からの物体の落下・飛来・衝突もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由。
    - ④ 地震・津波・噴火・地殻変動・地盤沈下・水害・風害・その他天災ならびにガス害・塩害・公害・ほこりによる故障および損傷。
    - ⑤ 入力および出力に接続される周囲機器、設備の不具合、建築躯体の変形など本製品以外の外部要因に起因する当該本製品の不具合。
    - ⑥ 盗難、置き忘れまたは紛失による場合。
    - ⑦ 核燃料物質(使用済み燃料を含む。以下も同様)もしくは核燃料物質によって汚染された物(原子核分裂生成物を含む)の放射性や爆発性、その他の核燃料物質の持つ有害な特性に起因するもの、またはこれらの特性(放射性・爆発性およびその他の有害な特性)による事故に起因するもの。
    - ⑧ 戦争・外国の武力行使・革命・政権奪取・内乱・武装反乱・その他類似の事変又は暴動(群集または多数の者の集団によって著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態)による場合。
    - ⑨ 指定規格以外の電源(電圧、周波数)で使用された場合。
  - (13) 修理のご依頼が、保証期間の末日後になされた場合。
  - (14) 本製品の修理を依頼された際、故障内容が再現しない場合。
4. 次の損害等については保証の対象となりません。
    - (1) 当社または当社の指定する工事店以外での修理費用。
    - (2) 本製品の故障に起因もしくは関連して発生したお客様の損失もしくは損傷等の損害。(発電電力、電気代、他の財物に生じた故障、その他の財物が使用出来なかったことによって生じた損害など)
  5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
  6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書により、保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社窓口にお問い合わせください。



